


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成29年 11月 15日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第2号	質問議員	3番	井上 正文 
件名	ヤマビル、マダニの対処法について問う			
要 旨				
<p>私は9月の一般質問で、鳥獣被害対策についての町の見解を一定程度評価した。それは、「国の半減目標を見据え、とり続けていく」という答えが現時点ではベターだからであった。</p> <p>今回は、鳥獣被害対策の本質的な問題に触れたいと思う反面「ヤマビルやマダニを議会で議論することが、観光立町へのマイナスのイメージを助長するのではないか」という自分自身にプレッシャーがかかり、苦悩の選択を余儀なくされた。</p> <p>しかし、私の予想を超える現実仲間が目の前で、ヤマビルに吸血され茶畑で私もマダニにくいつかれている。それを観光客に隠し通せるものではなく、むしろ、オール山北で「できる手を打つ」選択をすべきだと思い質問する。</p>				
<ol style="list-style-type: none">1 近年ヤマビルは、シカやイノシシによって運ばれるということが解ってきたが、山北町はヤマビルの発生状況をどのように認識しているか。2 ヤマビル発生個所が確認されたら、住民やハイカーにはどのような対応をとるのか。3 ヤマビルの出現地域には、駆除剤の配布方法を検討すべきでは。県のヤマビル対策共同研究報告書では、シカやイノシシ、クマ、ニホンサル、タヌキ、アナグマ、ノウサギ、キジ、ヤマドリ等がヤマビルを運んでいる報告がある。更に、マダニも運んでいる。限りなく山北町中央部に移りつつある。これからは、町と県と共同で水源地山北町				

をまもるべきだと思う。

- 4 サルやクマなど捕獲する種類をふやすべきだがいかがか。
- 5 昔やっていた家の周りや、畑や山の野焼きを消防と相談して復活させ、緩衝帯を設ける考えを検討すべきでは。